

料金改定についての市民説明会質疑応答まとめ

令和5年11月22日～12月14日 8回開催

■耐用年数について	
配管の耐用年数について、いままでの配管は70年くらいたっているということだが、本来ならどのくらいの耐用年数なのか。	耐用年数は法律で決まっております。50年となっております。現在の坂井市における水道管、下水道管につきましては、法定年数を経過したとか、あるいはいろいろな理由で漏水した箇所を、新しいものに取り換えるなど順次行っております。
耐用年数も50年はあつという間。今の技術なら100年も使えるものもある。メーカーで比較して考えた方がよいと思う。	各メーカーの良いスキルを活用していきたいと考えております。
■下水道の接続について	
坂井市関係の公務員の下水道の普及率は100%なのか。	市職員の下水道普及率はほぼ100%となっております。以前もご指摘があり、市職員に対しては接続を奨励しております。家庭の事情により接続ができない場合もありますので、ほぼ100%でございます。繋いでいない職員がおりましたら、今のような形で今後も奨励してまいります。
値上げに関しては仕方ないと思っているが、坂井市から給与を貰っている消防職員とか学校職員、教職員で下水道を接続していない人がある。値上げも必要だが、公務員なら100%しないといけけないのではないか。一般の人は仕方ないと思うが公務員は100%接続するべき。	今後も指導を促進していきたいと思っております。
■水道水について	
最近春江に引っ越してきたが（確認したところH3Iに開栓）、春江にきている水道はどこから水をとっているのか。	坂井市内は、8割が竹田川の県水を受水しております。残りの2割は各町に井戸があり、地下水を処理して県水を混ぜて、ご家庭に配水させていただいております。
針原は地下水があるのか。	春江の地下水は中筋の井戸のほうからとっています。針原は昔、地区で管理されていましたが、水道水には混ぜておりません。
■資金について	
値上げをすると、将来どのくらいもつと考えているか。	今回の料金改定で、今後、5年ごとに財政を見直しをしますが、現状では10年後まではいけるということはシミュレーションしております。
歳出削減の努力をしていない。料金値上げをする理由は分かるが、歳出削減をもっとするべき。住民に対して、ここまで私たちは努力しましたが、でも値上させてください、とするのが本当の行政だと思う。	ご指摘ありがとうございます。今のご指摘を真摯に受け止めて、今後も歳出の削減を進めていきたいと考えております。
赤字があった場合、一般会計からの持ち出しをすると聞いたが、どれくらい貰っているのか。	水道に関しては、1億円以下になります。下水に関しては、会計が非常に厳しく現在13億円を年間もらっております。
上下水道の積立金はあるのか。	一般会計の基金に相当するものはありますが、別途通帳上で管理しているわけではなく、帳簿上はあるという状況となっております。現金を別途の通帳で管理して、積立金です、としているわけではありません。
■低所得世帯への配慮について	
低所得世帯に対する配慮をしておりますが、具体的な案は出来ているか。	ただいま検討中であります。制度が固まり次第、広報等でお知らせしたいと考えております。
■その他	
自分の家が下水道料金をはらっていないのではないかとと思う。	下水道料金については、おうちが、下水なのか浄化槽なのかで変わります。下水道に接続されていれば下水道料金がかかっておりますし、浄化槽の場合はかかっておりません。検針票を見ていただくと、確認できます。